

お客様本位の業務運営に関する方針

1. お客様の最善の利益の追求

メツラー・グループは、創業以来、独立・中立、お客様第一主義、お客様との信頼関係の構築により支えられた専門性や伝統的なサービスの提供を経営理念として 340 年以上に亘る歴史を積み重ねてまいりました。

当社は、その経営理念に基づき、お客様とのコミュニケーションを何よりも重視し、お客様の現況、資金の性格、運用ニーズ等を徹底的に理解するよう務め、お客様との間で築かれた信頼関係の上で、適切な投資助言または運用戦略を提案してまいります。

2. 利益相反の適切な管理

メツラー・グループは、非上場かつ創業以来一貫した独立経営であるため、他社と資本提携等の特別な関係を築いてお客様の利益に反する業務運営を行うことは一切ありません。そのような中においても、お客様から一任された資金の運用に関する利益相反を厳格に把握・管理するために「弊害防止措置及び利益相反取引の管理規則」を定め、適切な業務運営体制を確保しています。

3. お客様へのわかりやすい情報・サービスの提供

独立性のみでは、お客様へ最善の運用サービスの提供を行う体制として、十分ではありません。当社では、お客様へ適切な情報・サービスの提供を可能にするプロフェッショナル集団であり続けるため、メツラー・グループと協同し社員全員がグローバルな金融・証券市場での経験を深め、また取り扱う投資戦略等の知識の習得と理解に努めます。

また、サービス内容の明確化もわかりやすさの重要な要素だと考えています。そのため、当社では、投資家のニーズにお応えし複数の金融商品・サービスを同時にご提供することはございますが、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨することはございません。また金融商品の組成には直接携わりません。

お客様とのコミュニケーションを何よりも重視し、重要な情報・サービスをわかりやすくご提供してまいります。

4. 運用報酬等の明確化

当社は、投資助言、運用戦略毎にお客様へ合理性のある適正な水準の運用報酬等を提示します。運用報酬等の内訳に関しても、お客様にご理解いただけるよう、可能な限り透明性を確保し分かりやすい説明を行うべく取り組んでいます。更に、お客様から一任された資金のより高い運用効率に資するべく、運用報酬率等の低減を目指し不断の経営努力に取り組んでまいります。

5. お客様本位の業務運営に資するガバナンス

当社は、顧客本位の業務運営を推進するべく、取締役会や経営委員会等での活発な議論のほか、定期的開催されるコンプライアンス研修や日常における社内での活発なコミュニケーションを通じ、

経営陣を含めた全社員が共通の意識を持って業務に取り組む体制を構築しています。また、円滑なコミュニケーションや、日常の行動におけるベストプラクティスベースでの行動基準については、全社員共通の業務目標に掲げ、それらの業務目標については適切に評価の上処遇に反映させてまいります。

以上

付 記

令和5年1月30日改訂